

地方創生、金融と協力

養老町が4機関と協定締結



4金融機関と協定書を交わした大橋孝町長(中央)
＝養老町役場

育児支援、雇用創出に対応

養老町は24日、地元4金融機関と地方創生の推進に関する包括連携協定を締結した。同町役場で締結式があり、大橋孝町長らが協定書を取り交わした。

(古田浩康)

協定は、町が策定する「『絆を大切にす
まち養老』創生総合戦
略」に基づき、人口減
少や子育て支援、雇用
創出などの諸課題に行
政と金融機関が協働
で取り組み、地域活性
に結びつけるのが狙
い。

締結式には、大垣共
立銀行の加藤芳之専
務、土六銀行の長谷川
拓人常務、大垣西濃信
用金庫の杉原卓二常
務、西美濃農業協同組
合(JAにしみの)の
玉井寛之金融担当常務
が出席した。

大橋町長は「金融機
関の持つ高い専門性

とネットワークを生か
していきたい」とあいさ
し、地域創生の取り
組みを強く推し進めて
いきたい」とあいさ
した。加藤専務は「少子高
齢化の中で金融機関の
果たす役割も大きい。
観光振興や地域経済の
活性化など、一緒に取
り組んでいきたい」と
述べた。